



2020年5月25日
株式会社立花商店
生田 渉

(新) 週刊カカオニュース 12号

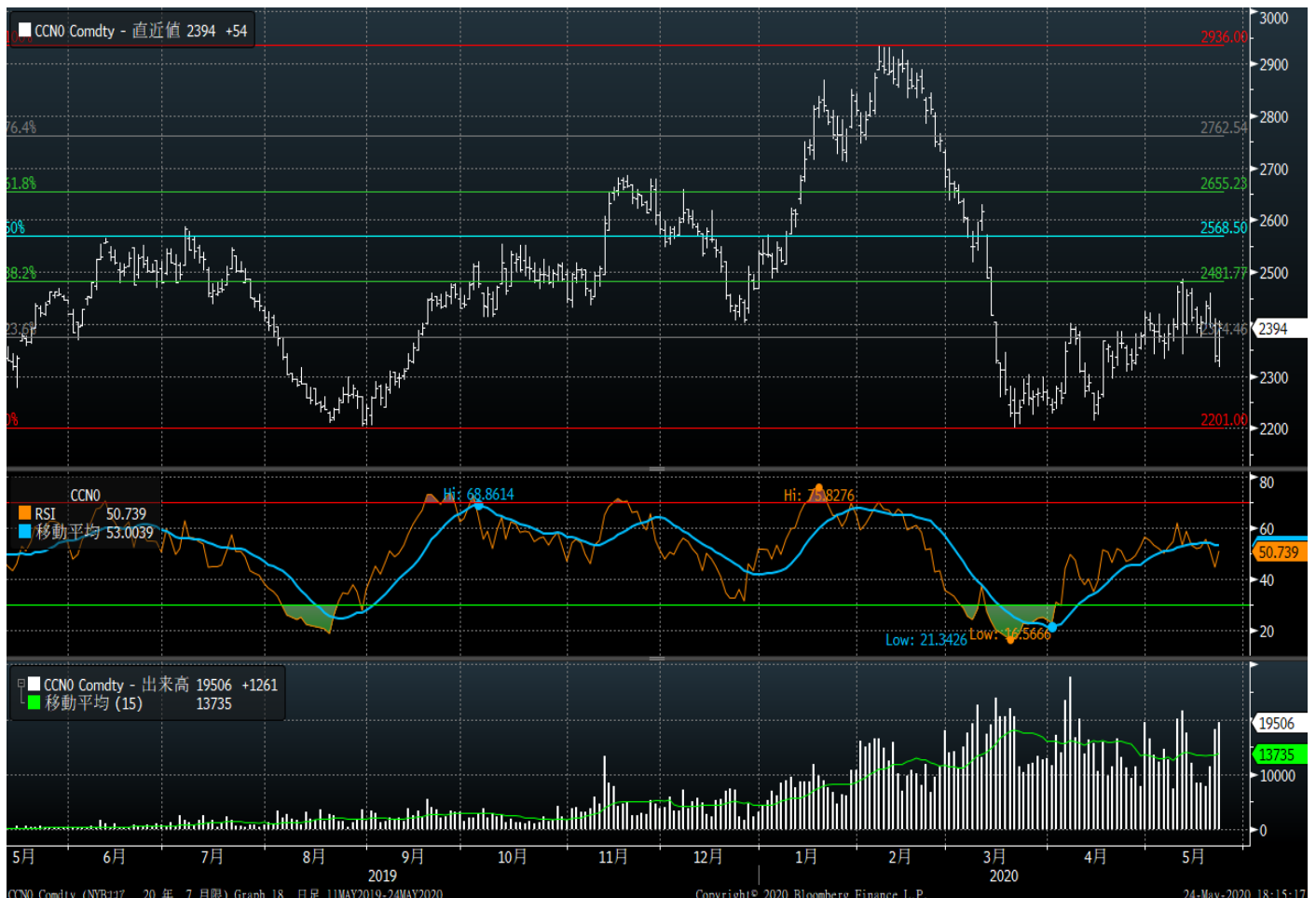
毎度お世話になります。カカオトレーダーの生田と申します。

首都圏の非常事態宣言の解除に予定が立ち、少しずつ穏やかな日常を取り戻せそうな感じが出てきています。カカオの生産地であるアフリカ、南米では感染者数が今現在増加傾向にあり、まだまだ事態の収束には時間を要する状況にあります。ただ、アフリカの雰囲気を見ていると、政府のアクションにはいろいろ問題も多いのですが、一方で、アフリカの生活者の方々のメンタリティの強さ、明るさを感じることがあります。良くも悪くもコロナを恐れていない、明るく生活していこう、大丈夫だという、前に進む強さを感じ勇気づけられることが少なくありません。

普段から、感染症や人の死が、先進国よりも近く、大変な状況も多い中ではぐくまれた強さ、明るさをアフリカの方は持っていると感じます。

1、ニューヨークカカオ July の価格動向分析

先週に引き続き、今週はNY市場のJuly限月の価格分析を行います。



何を示しているかを簡単にご説明いたします。

《1 番上》

過去 1 年間の July2020 の価格がどのように推移しており、また現在の価格が過去 1 年の中で高値水準にあるのか安値水準にあるのかを分析するチャート。ここから、まず全体感として捉えたいのは、過去 1 年間の最高価格が 2936USD、最低価格は 2201USD で価格の中間地 50%が 2568USD であることです。

《真ん中》

グラフ上のオレンジの線は、直近の一定期間において終値ベースで上昇変動と下落変動のどちらの勢いが強いのか計測しようとするチャート。(=RSI 相対力指数)、水色は RSI の移動平均です。

*RSI は、50%を中心として 0~100%の範囲で推移し、上昇局面に入ると数値が 50%以上で推移し、下降局面に入ると数値が 50%以下で推移します。

通常、RSI が 70%(上記で赤線)以上であれば相場は買われすぎ、逆に RSI が 30%(上記の緑線)以下であれば相場は売られ過ぎであると判断されます。

《一番下》

過去一年間の毎日の取引数量の数とその移動平均です。ここで感じるのは、2019 年 9 月—2020 年 2 月末まで NY 市場はかなり買われ過ぎの状態が続いていて、コロナの影響はあくまでそのトリガーを引いただけで元々積みあがってきた買い越しが一気に売られたことで急激な価格の下落が生じたと読み取れます。

上記からの分析・推論

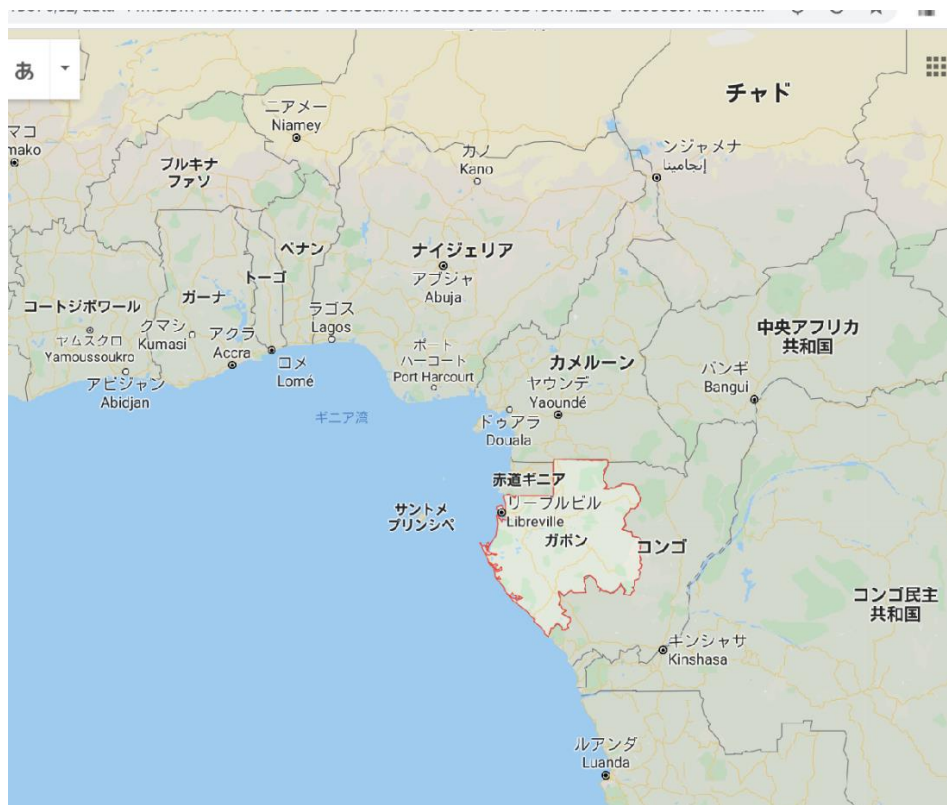
まず、ロンドンとは違い NY の July はまだ買われ過ぎの状態ではなく、大きな流れでいえば、ゆるやかな上昇トレンドの途中。ただし小さな流れでは、一度 2481USD 付近で頭を押さえられ、やや停滞近郊の状態となっているのが現状。ですので、一日の中で 2350-2450USD の間で 100USD くらいは直ぐに一気に動くものの、単にそれを繰り返しているだけの様相が続いています。以前は NY 市場が LDN 市場よりもかなり高値で推移しておりその差が大きく乖離していましたが、現在はその差が縮小してきて、アフリカ産カカオの割安感はいぶ消えて、南米産カカオの価格が割安に見えるタイミングがやや増えてきました。特徴的なのは、一日の値動きがかなり大きい事で、昨年と比べてコロナショック後の 4-5 月は 1 日の値動き幅が大きく、乱高下しているのが見て頂けると思います。これは実需筋の大きなトレンドはなく、投機筋が短期で売り買いしているというレベルと思われる。2,481USD の上値が重そうですので、当面やや大きな動きはないかもしれませんが、下値は一番底が 2200 レベルですので、現在の価格からするとそこまで大きな下げではない為、あと 1 か月ほどで限月が終わる事も考えると現状維持という感じが強いかもしれないと予測します。ただし、NY 市場は LDN 市場程には、LID の影響がなく、各限月間の価格の差も少ないため、限月間の乗り換えのミングや、LID 発効の前後での価格の調整機能が多方面に影響する可能性もある事などから、複雑さや、難しさは現在感じあまりがします。

2、ガボン政府、カカオ豆の適正価格を約束(5/21)

ガボン（ガボンの所在地は下記の地図を参照）の国営のカカオ管轄の団体である Caisses de Stabilization et de Perequation (=通称 Caistab) のマネージャーは木曜日、今年度ガボンで生産されたすべてのカカオ豆を国が購入すると発表した。Caistab のマネージングディレクター、ティエリー・プロスパー・ムブツウ氏は、カカオ農家がコロナウイルスのパンデミックの中で直面している困難についての問題が大きくなっている為、この決定がなされたと語った。

「石油およびガス産業と同様に、Covid-19 がココア産業に与える影響は深刻です。Caistab にはガボンのカカオ生産者を保護するという重要な使命があるため、市場価格を常に見続けています。」と前述のムブツウ氏は語った。「世界市場での価格の変動に関係なく、今シーズン設定した最低保証価格が保証されます。」

ムブツウ氏は、政府が昨年 25 億 CFA フラン（418 万ドル）を投資して、ココア収穫を 3 年間増強したことに触れて、この計画の一環として、国のココア生産を促進するために 200 人の若者を訓練していると説明した 2019 年のカカオ産出量のデータはまだ発表されていませんが、カイスタブによると、2018 年には 115 トンのカカオ豆が生産され、国が前年に生産した 95 トンと比較して 21%増加しました。ムブツウ氏は、Caistab はガボン全体のカカオ生産量を 2025 年までに年間 3,000 トンに引き上げることを目指していると述べた。



3、ガーナ政府、資金調達の為 182 日償還の 1 億 6 百万ドル相当のカカオ債を発行(5/20)

ガーナは 5 月 19 日に今年の 11 月 17 日に満期となる 6 億 1,511 万セディ（1 億 600 万ドル）のカカオ債を発行、売り切りました。カカオ債は 91.855 の価格で販売され、17.735 パーセントの利回りがあります。

発行者	ガーナ共和国
満期日	2020 年 11 月 17 日
オークション日	2020 年 5 月 19 日
タイプ	カカオ債
入札額	6 億 7,363 万セディ
割り当てられた金額	6 億 1,185 百万セディ
カバー率の入札	1.1
価格	91.855
金利	17.735%
決済	2020 年 5 月 19 日
主幹事	ガーナ銀行

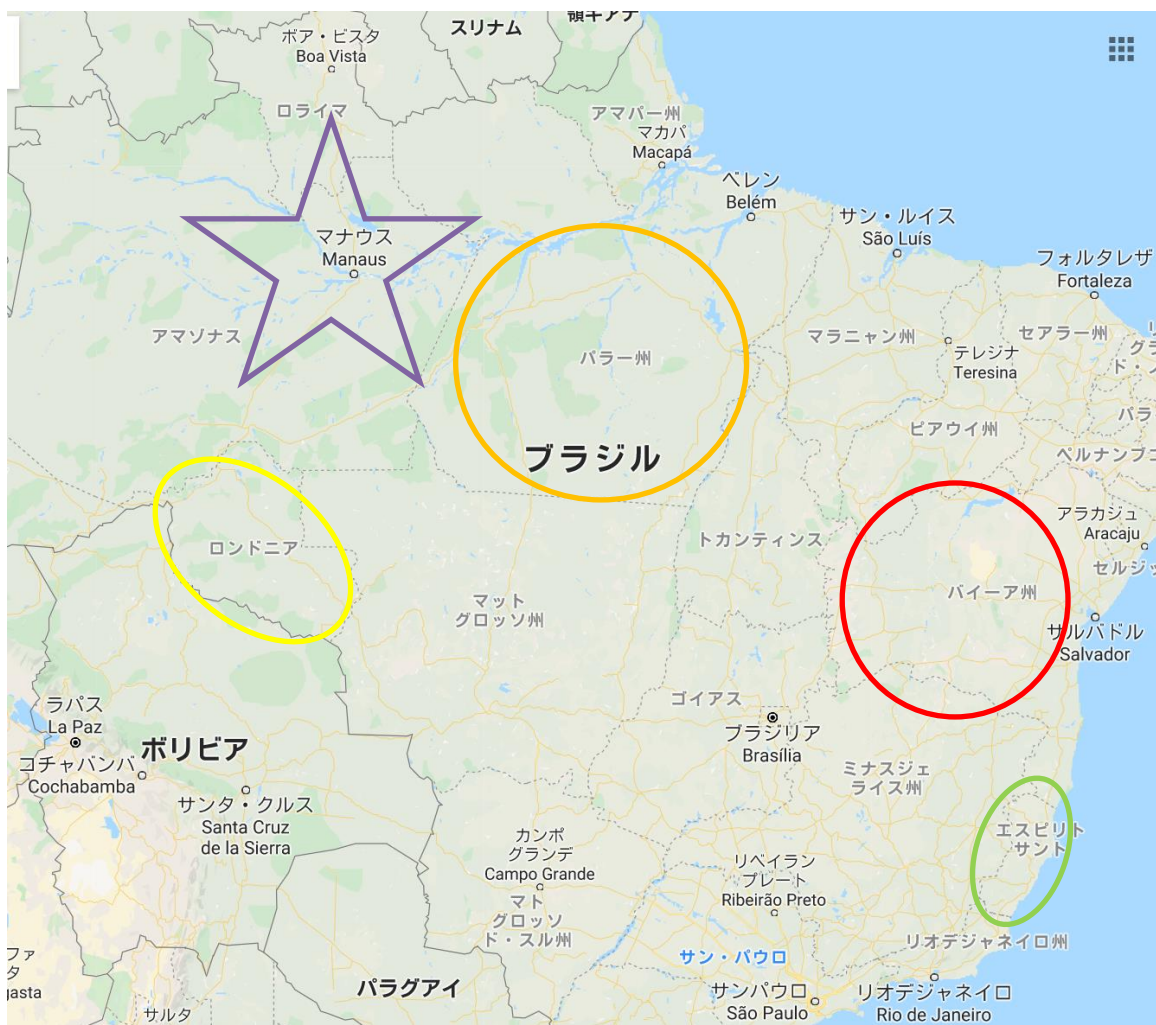
4、ブラジルカカオ；雨がバヒア州のカカオ収穫を遅らせ、パラ州への着荷は増加（5/24）

降雨が続くブラジルのバヒア州では、カカオの収穫を遅らせ続けている間、パラ州からの豆の流れは5月17日までの週に大幅に増加した。

- 国の統計の予測数値によると、バヒア州ではこれまでに90万～110万袋（＝6.3～7.7万トン）のカカオ豆が届き、パラ州では85万-95万袋（＝5.95～6.65万トン）のカカオが到着した。
- バヒア州（地図で赤丸）は今週着荷が21,637袋 に対して、先週は25,084袋
- ブラジル全土の合計数では今週の到着数は推定で75,548袋（対して先週は74,500袋）
 - パラ州（地図でオレンジ）の今週51,199袋 対 先週は44,821袋
 - エスピリトサント州（地図で緑）の今週到着1,237袋 対 先週は2,330袋
 - ロンドニア州（地図、黄色）の今週到着1,475袋 対 先週2,265袋

*1袋＝70kg換算にて計算

【ブラジルカカオの主要産地の位置】



《参考：弊社取り扱いのブラジル産アマゾンカカオについて》

弊社で扱っております、ブラジル産カカオは、上記地図上の★マークにあります、アマゾナス・マナウス産のカカオをとり扱っております。地図で見て頂いた通り沿岸地域から離れかなり内陸で、また手付かずのアマゾン森林の中にある事がイメージ頂けると存じます。バヒア州などは生産性の高いハイブリッド品種が主に育て

られておりますが、アマゾナス州ではアマゾンに由来より自生してきたカカオの品種がそのまま受け継がれて生きており、それを現地住民の方より毎年少量購入させて頂いております。

とても、魅力的なストーリーと、味わいも特筆すべきバランスの良いカカオですので、また近いうちにアマゾンカカオの特集をさせて頂き、詳しくご説明させていただければと存じます。

5、ファンドは引き続きロンドンのココアを強気買い、過去2か月で最大の買越し(5/23)

ファンドマネージャーはロンドンのカカオ先物取引のポジションを強気を買っており、5月19日までの週において、4,581ロット(45,810トンのカカオ豆相当)の買いポジションを増やし、買いポジションだけの合計数を38,602ロット(38万トンのカカオ豆相当)とした。

- ロングポジション(買いポジション)からショートポジション(売りポジション)を引いた正味ロングポジションの数は過去2か月で最も強気の数字。
- ロングポジションだけの総数は5月19日までの週に4,833ロット増加して39,512でこれも過去2か月において最大。
- ショートポジションだけの数字は、252ロット増加して総数が910に上昇。このショートの合計数は先週より増加しており、一方でショートが増えていく傾向もわずかに示している。

6、ロックダウンの緩和により、需要の急増によりカメルーン中央部のココア価格が上昇(5/22)

ヤウンデのカカオ生産者と仲買人が語ったところによると、カメルーン-政府がロックダウン規制を緩和し始めた事によりカカオ豆の需要が増加傾向にあり、カメルーン主要な生産地域である中央州でカカオに対して支払われる価格が引き上げられている。今、カカオ豆1キロは1,145 CFAフラン(1.91ドル)で販売され、前週に販売された、1,050CFAフランから9%増加した、と彼らは言った。先週中は、価格は7%急落しましたが、それでも今週の価格は、過去3週間で22%上昇した価格だ。仲買人がカカオ豆1キロあたりXAF950-900を提示していた昨年同時期と比較して、今年のはるかに良くなっている。

しかし、一方では、ロックダウンの規制緩和により、コロナウイルスの新たな症例が増加し、政府主導のタスクフォース委員会は今週木曜日に、528の新しい症例を記録し、1日での最高となったと報告している。これにより、国内の症例数は4,272名、死亡者数は170名となっている。

中央州はカメルーンでカカオ栽培を主導しており、国の年間カカオ豆収穫の約51%を占める。

*** 配信の削除、ご依頼については、下記アドレスまでご連絡願います。**

株式会社 立花商店 生田 w-ikuta@tachibana-grp.co.jp